

予防接種の注意

予防接種前の注意

- 1 お子さんの体調はよいですか。
- 2 今日受ける予防接種について、必要性、効果及び副反応など理解していますか。わからないことがあれば、質問をメモしておきましょう。
- 3 母子健康手帳は持ちましたか。
- 4 予診票の記入はすみしましたか。

(1) 一般的注意

予防接種は体調のよい時に受けるのが原則です。

日頃から保護者の方はお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。そして気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医や保健所、高島町健康長寿課（げんき館）に相談してください。

安全に予防接種を受けられるよう、保護者の方は、以下のことに注意の上、当日に予防接種を受けるかどうか判断してください。

- ① 当日は、朝からお子さんの状態をよく観察し、ふだんと変わったところのないことを確認するようにしましょう。
予防接種を受ける予定であっても、体調が悪く思ったら、かかりつけ医に相談のうえ、接種をするかどうか判断するようにしましょう。
- ② 受ける予定の予防接種について、通知やパンフレット、ホームページをよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。
わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- ③ 母子健康手帳は必ず持っていきましょう。
- ④ 予診票は、接種する医師への大切な情報です。
責任をもって記入するようにしましょう。
- ⑤ 予防接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れていきましょう。

なお、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り、接種が行われます。

(2) 予防接種を受けることができない場合

- ① 明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます。）をしているお子さん
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかなお子さん
急性で重篤な病気で薬を飲む必要のあるお子さんは、その後の病気の変化もわからないことから、その日は接種を受けないのが原則です。
- ③ その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかなお子さん

「アナフィラキシー」というのは通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことで、汗がたくさん出る、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続きショック状態になるような、はげしい全身反応のことで、

- ④ 麻しん（はしか）、風しん、水痘（水ぼうそう）及びおたふくかぜの予防接種の対象者で妊娠していることが明らかな人

お子さんには直接関係ない規則ですが、任意で受ける人のことも考慮したものです。

- ⑤ BCG接種の場合においては、外傷などによるケロイドが認められるお子さん
- ⑥ B型肝炎の予防接種の対象者で、母子感染予防として、出生後にB型肝炎ワクチンの接種を受けたお子さん
- ⑦ その他、医師が不適切な状態と判断した場合

上の①～⑥に当てはまらなくても医師が接種不相当と判断した時は、予防接種を受けることはできません。

(3) 一般的注意

以下に該当するお子さんがいると思われる保護者は、かかりつけ医がいる場合には必ず前もってお子さんを診てもらい、予防接種を受けてよいかどうかを判断してもらいましょう。受ける場合には、その医師のところで接種を受けるか、あるいは診断書又は意見書をもらってから予防接種を受けるようにして下さい。

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けているお子さん
- ② 予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられたお子さん及び発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられたお子さん
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがあるお子さん
けいれん（ひきつけ）の起こった年齢、そのとき熱があったか、熱がなかったか、その後起こっているか、受けるワクチンの種類などで条件が異なります。
必ず、かかりつけ医と事前によく相談しましょう。
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全症の者がいるお子さん
(たとえば、赤ちゃんの頃、肛門のまわりにおできを繰り返すようなことがあった方の場合)
- ⑤ ワクチンにはその製造過程における培養に使う卵の成分、抗生物質、安定剤などが入っているものがあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのあるお子さん
- ⑥ ラテックス過敏症のお子さん
ラテックス過敏症とは、天然ゴムの製品に対する即時型の過敏症です。ラテックス製の手袋を使用時にアレルギー反応がみられた場合に疑います。またラテックスと交叉反応のある果物等（バナナ、栗、キウイフルーツ、アボガド、メロン等）にアレルギーがある場合にはご相談ください。
(様式第八B型肝炎予防接種予診票から。)
- ⑦ BCG接種の場合においては、家族に結核患者がいて長期に接触があった
(様式第八B型肝炎予防接種予診票から。)

予防接種後の注意

- ① 予防接種を受けたあと 30分間程度は、医療機関（施設）でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ② 接種後、生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間は副反応の出現に注意しましょう。

生ワクチン（MR、麻しん、風しん、BCG）
（おたふくかぜ、水痘（水ぼうそう）、ロタウイルス など）

不活化ワクチン（DPT-IPV、DPT、DT、ポリオ、日本脳炎、Hib感染症、
小児の肺炎球菌感染症(13価)、ヒトパピローマウイルス感染症、
高齢者の肺炎球菌、B型肝炎）
（破傷風、季節性インフルエンザ など）
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。
入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 当日は、はげしい運動は避けましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。